

## EUSI メールマガジン Vol. 023 「日・EU フレンドシップウィーク Vol.1」

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)  
[http://eusi.jp/content\\_jp/aboutus/about\\_eusi/](http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/)

### 【日・EU フレンドシップウィーク Vol.1】

EUSIでは一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学にて、日・EU フレンドシップウィークに、様々な展示と公開講座を行います。  
今号では、一橋大学・慶應義塾大学での取り組みをご紹介します。

#### 1. 一橋大学「Drago mi je (はじめまして)! 2013年加入国 クロアチア紹介」

日時: 2013年5月13日(月) - 6月7日(金) ※土日を除く

会場: 一橋大学附属図書館公開展示室

詳細: <http://www.lib.hit-u.ac.jp/pr/tenji/>

一橋大学では、2013年5月13日(月)から6月7日(金)にかけて、附属図書館公開展示室において、EUに関する資料展示を行う予定です。

展示は、「Drago mi je (はじめまして)! 2013年加入国 クロアチア紹介」

(Drago mi je! Croatia. Let's learn about the new member.)と題し、7月に加盟予定のクロアチアを取り上げます。本展示を通して、クロアチアの歴史・文化などへの理解を深めることを目的とし、合わせてEUそのものや拡大の歴史も紹介したいと考えております。

展示の構成はまず、EU拡大の歴史をご紹介します。歴史的事項および経年変化について年表と地図を用いてご説明します。次に、クロアチアの基本情報(地理・国旗・人口・面積・気候など)・歴史・産業・文化遺産・日本との関係をご紹介します。さらに、現在、附属図書館雑誌棟で行っているユーロの紹介や、EU MAG (駐日欧州連合代表部の公式ウェブマガジン)、EUSI メールマガジンのバックナンバー等も展示する予定です。

本展示は特別な予備知識を必要としません。皆様、気軽にお立ち寄りください。

#### 2. 慶應義塾大学「EUと世界遺産」

日時: 2013年5月7日(火) - 5月25日(土)

会場: 慶應義塾大学三田メディアセンター

詳細: <http://www.mita.lib.keio.ac.jp/guide/eu/friendship.html>

2013年の日・EU フレンドシップウィークのテーマは「EUと世界遺産」です。

メディアセンターのスタッフたちが旅先で撮影したさまざまな写真をたくさん集め、EUの世界遺産を紹介するパネル展示を開催します。

視覚的に理解しやすいよう、大きなEUの地図にたくさんの世界遺産の写真を展示します。また、訪れた人が、EUの世界遺産の歴史や現状、ひいてはEUの文化について考える機会を得られるよう、EUの世界遺産にまつわるクイズを企画します。

EUには、各国に少なくとも1つの世界遺産があり、EU27ヶ国全体で、300を超える世界遺産があります。とりわけイタリアやスペインは、数歩歩けば世界遺産に巡り合えるのではとってしまうほど世界遺産の数が多く、EU各国が、非常に豊かな文化にあふれた国々であることを知ることができます。

EU情報センターの使命は、多くの人たちに、EUに対する理解を深めてもらうことです。今回のフレンドシップウィーク企画「EUと世界遺産」が、展示を見に訪れる多くの人たちにとって、圧倒的な世界遺産の数をほこるEUの存在を知ってもらう足がかりとなり、EUへのさらなる理解を深めることにつながれば幸いです。

## 【EUSI イベントご案内】

日・EU フレンドシップウィーク (※一橋・慶應分に関しては上記を参照)

### 1. 津田塾大学・パネル展

「日本のヨーロッパ発見 1872年～73年に岩倉使節団が見聞したヨーロッパの多様性と統一性」

日時: 2013年5月7日(火) - 6月7日(金) 9:30-16:30 ※土日を除く

場所: 津田塾大学小平キャンパス 7号館 1階ラウンジ

協力: オーストリア大使館

### 2. 津田塾大学・公開講座「社会的ヨーロッパの隘路と可能性」

日時: 2013年6月2日(日) 13:00-17:00

場所: 津田塾大学小平キャンパス 7号館 7101教室

## 【EUSI 所属研究者による記事・執筆情報紹介】

中西優美子(一橋大学大学院法学研究科教授・EUSI 執行委員)が、以下の3つの判例研究を刊行しました。

- ・「ドイツ連邦憲法裁判所によるEU機関の行為に対する権限踰越コントロール」  
『自治研究』第89巻第4号(2013年)
- ・「欧州安定メカニズム条約と財政規律条約のドイツ基本法との合憲性」  
『貿易と関税』第61巻第4号(2013年)
- ・「遺伝子組換え組織体(GMO)の花粉を含むはちみつに関するEU司法裁判所の判断」  
『一橋法学』第12巻第1号(2013年)

林秀毅(日本経済研究センター特任研究員・EUSI 主任研究員)が、以下の2つの寄稿を行いました。

- ・【新連載】「キプロスは第2のギリシャになるか スロベニア救済問題にも注目」  
『欧州経済・金融レポート』(日本経済研究センター)(2013年4月11日)  
<http://www.jcer.or.jp/column/hayashi2/index471.html>
- ・「ユーロ危機への対応 財政基金の規模が重要に」  
『日本経済新聞』経済教室(2013年4月24日)

## 【EUに関するニュース】

- 2013年3月16日 ユーロ圏財務相会合、キプロス国内預金から最大9.9%を税金徴収、銀行再建へ。預金者反発
- 2013年3月18日 ユーロ圏財務相会合電話会議、16日合意を変更、10万ユーロ以下の小口預金を保護と表明
- 2013年3月18日 Eurostat、1月貿易収支はユーロ圏で39億ユーロ、EU全体で165億ユーロの赤字
- 2013年3月19日 議長国アイルランド、EU域内銀行監督一元化に関して欧州議会と暫定合意取りまとめ
- 2013年3月19日 EU、アフリカ連合ソマリアミッション(AMISOM)へ3300万ユーロの追加支援を決定
- 2013年3月19日 ドラギ ECB 総裁、単一金融市場の断片化の動きで政策の影響が一様でなくなると講演で懸念
- 2013年3月19日 欧州自動車工業会(ACEA)、2月新車販売は前年同月比でEU域内-10.5%、独-10.5%、仏-12.1%
- 2013年3月20日 欧州委員会、ユーロ圏の経済政策調整と統合強化を目的とする2つの政策文書を提出
- 2013年3月21日 ユーロ圏財務相会合電話会議、キプロス債務危機に対する調整プログラムについて協議
- 2013年3月21日 日・EU、広範な防災協力枠組整備のための書簡交換
- 2013年3月21日 EU理事会、欧州エネルギーインフラの近代化と拡張のための規則を採択
- 2013年3月25日 日・EU首脳電話会談、日・EU EPA及び政治協定の交渉開始正式決定、地域情勢について協議
- 2013年3月25日 岸田外相、ドゥグヒュト欧州委員(通商担当)会談。日・EU EPAやG8協力・OECDなどについて協議
- 2013年3月25日 ユーロ圏財務相会合、キプロスのマイクロ経済調整計画に関して同国とトロイカとの間で合意
- 2013年3月25日 アシュトン EU上級代表、ジンバブエ国民投票の新憲法承認への祝意とEU制限措置見直しを声明
- 2013年3月25日 アシュトン EU上級代表、中央アフリカ共和国で政府と反政府勢力セレカとの対立激化に懸念表明
- 2013年3月25日 欧州委員会、域外の学生・研究者に対する学生ビザ・滞在許可発行手続に関する提案
- 2013年3月26日 欧州委員会、クロアチアEU加盟準備に関する最終モニタリング報告書採択。正式加盟に問題なし
- 2013年3月26日 欧州委員会、加盟国のイノベーション実績順位発表。北欧諸国や独が高評価、バルト3国も急成長
- 2013年3月26日 欧州委員会、最新の雇用・社会状況四半期評価発表。雇用は全体的に縮小、政府債務削減も影響
- 2013年3月27日 欧州委員会、気候・エネルギー政策の2030年の枠組策定へ、意見公募などグリーンペーパー採択
- 2013年3月27日 欧州委員会、Europolの情報収集・分析・共有における法執行当局間協力や、訓練支援などを提案
- 2013年3月27日 駐日EU代表部、自殺者1万人を救う戦いに関する講演・パネルディスカッションを開催
- 2013年3月27-28日 EU、欧州ファッションブランド展示会「weareurope」を東京で開催
- 2013年3月28日 欧州委員会、キプロスの資本規制導入に対して留意しつつも、規制自体は正当との評価を表明
- 2013年4月2日 アシュトン EU上級代表、国連総会の武器貿易条約採択に対し歓迎声明。通常兵器取引の透明性向上
- 2013年4月3日 OECD、2012年度援助報告発表。EU及び加盟国は世界最大の援助額拠出も、債務危機のため額面減少
- 2013年4月3日 欧州委員会・IMF、キプロス政府の債務危機改革計画案に対する声明発表
- 2013年4月4日 アシュトン EU上級代表、北朝鮮の寧辺核施設再稼働に対して非難声明
- 2013年4月5日 欧州委員会「She Figures」報告書、EU内の女性研究者割合は33%・正教授では20%で低いと指摘
- 2013年4月5日 欧州委員会、独ベルテルスマン社と英ピアソン社の出版事業統合と新会社設立を承認
- 2013年4月5日 ポルトガル憲法裁判所、緊縮財政政策の一部に違憲判断。コエリョ首相、緊縮財政推進を改めて表明

- 2013年4月5-6日 イラン核開発に関するE3+3協議、信頼醸成案に関してイランとの隔たりが依然大きく進展せず
- 2013年4月8日 アシントン EU 上級代表、尹炳世韓国外相と電話会談。FTA などによる関係発展や北朝鮮問題を協議
- 2013年4月8日 サッチャー英首相逝去。ファン＝ロンパイ議長、バローゾ委員長、哀悼の声明発表
- 2013年4月9日 第2世代シェンゲン情報システム(SIS II)運用開始。シェンゲン領域における情報共有の円滑化へ
- 2013年4月10日 レーン副委員長、13加盟国のマクロ経済不均衡に関する詳細評価報告書を発表
- 2013年4月10日 欧州委員会、EUの通商防衛策の近代化に関する包括的提案
- 2013年4月12日 欧州委員会、ハンガリー基本法の第4次改正内のEU法や法の支配との整合性に深刻な懸念を表明
- 2013年4月12日 ユーロ圏財務相会合、対キプロス支援に関してESMの枠組から最大100億ユーロの金融支援で合意
- 2013年4月12日 ユーロ圏財務相会合・EU経済財務理事会、アイルランド及びポーランドの経済調整計画を協議
- 2013年4月15日 欧州議会基本法問題委員会、2014年次期欧州議会選挙を5月22-25日に前倒しで決定
- 2013年4月15日 欧州委員会、人身取引に関する初の報告書発表。2008-10年EU域内の人身取引犠牲者18%増加

#### 【編集後記】

2013年4月、EUSI第2期の最初のメールマガジンをお届けします。イタリアの政治情勢は依然予断を許さず、キプロス救済を契機にスロベニアなど周辺諸国への波及が再び懸念され始めています。その一方で、これらに対する金融市場は従来ほど不安定化していないという面もあります。

この背景には、欧州中銀(ECB)を中心に危機対応の緊急策が取られたことが支えになっているといえます。現状は、このような緊急対応から金融・財政危機を克服するための長期的な制度作りに移行する過渡期にある、と考えています。以上のように、EUが徐々に将来に向けた前向きな検討を具体化しつつある中で今年7月にクロアチアがEUの28番目の加盟国となることは象徴的な出来事といえるでしょう。

毎年恒例のフレンドシップウィークでは、新加盟国クロアチアの紹介を含め、EUSIコンソーシアムの各大学が工夫を凝らした企画・展示を行う予定です。

(林 秀毅・EUSI・一橋大学・EUSIメールマガジン編集担当)

2009年4月に産声を上げたEUSIも、2013年3月に第1期を終え、本年度より無事2期目を迎えました。第2期・2013年-16年度の最初のEUSIメールマガジンをお送りいたします。本年度もどうか何卒よろしくお願ひ申し上げます。

EUSIではちょうど昨日、EUSI政治プロジェクトの第1回研究会を開催しました。テーマは「日本におけるEU・ヨーロッパ政治研究の可能性」というものです。

国際政治史・外交史の分野から、比較政治、福祉・労働・政党政治などの政策領域におけるEU研究のあり方にいたるまで、日本国内と海外での研究需要の違いなど、幅広い視野から今後のEU研究の可能性を探るものでした。

今回、EUSI所属研究者による執筆情報でも、中西優美子先生による研究を紹介させて頂きましたが、今年に入ってから日本ではEU研究の分野で様々な優れた研究が生まれてきています。政治史では、益田実・小川浩之編著『欧米政治外交史 1871～2012』(ミネルヴァ書房、2013年3月30日刊行)、また欧州統合に関しては、塚田鉄也『ヨーロッパ統合正当化の論理』(ミネルヴァ書房、2013年3月10日刊行)、そして一昨日には、遠藤乾『統合の終焉 EUの実像と論理』

(岩波書店、2013年4月23日刊行)など、次々に新たな研究が産み出されています。これらはまさに、政治史・移民社会論・統合論それぞれの分野で日本における最先端の研究水準を示すものであり、このような優れた研究が産み出されてゆくのも、それだけ EU に関心を持つ優れた若手の研究者が数多く育ってゆく土壌を发展させてきた結果であるように思われます。EUSI は、このような日本における EU 研究の一端を担いながら、日本と欧州社会の間に学問的な貢献を果たしてゆくことができたらと願っております。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

---

**EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo**

〒186-8601 東京都国立市中 2-1  
一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局  
TEL: 042-580-9117 / E-mail: [info@eusi.jp](mailto:info@eusi.jp)

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての  
問い合わせにつきましてはこちら  
E-mail: [info@eusi.jp](mailto:info@eusi.jp)

---